



TBS

2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月9日

上場会社名 株式会社TBSホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 9401 URL <https://www.tbsholdings.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐々木 卓
 問合せ先責任者 (役職名) 財務戦略局長 (氏名) 佐藤 信一郎 TEL 03-3746-1111
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	276,146	2.5	20,194	△12.9	34,101	2.1	21,166	△0.9
2022年3月期第3四半期	269,318	13.1	23,198	90.6	33,385	58.4	21,367	△34.2

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 △107,813百万円 (-%) 2022年3月期第3四半期 133,010百万円 (△9.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	125.33	—
2022年3月期第3四半期	125.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	1,020,218	763,977	73.4
2022年3月期	1,201,632	883,002	72.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 748,397百万円 2022年3月期 868,455百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	15.00	—	22.00	37.00
2023年3月期	—	20.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	368,200	2.8	22,000	8.1	35,000	14.0	20,300	△36.6	120.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	171,591,065株	2022年3月期	171,591,065株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	3,244,805株	2022年3月期	874,583株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	168,884,050株	2022年3月期3Q	170,828,780株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
(株)TBSテレビ第3四半期事業収入の内訳	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2022年4月1日～2022年12月31日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症第7波の到来と第8波への警戒感が高まりましたが、感染防止と経済活動の両立を目指し、まん延防止等重点措置などの行動制限が無かったことにより、個人消費を中心に景気は緩やかな持ち直しの状況を維持しました。しかしながら、世界的な金融引き締めによる海外景気の下振れや、エネルギー・原材料価格の高騰による物価上昇が家計におよぼす影響に注意が必要な状況となっております。

テレビ広告市況のスポット広告費における関東地区投下量は前年同期比96.3%となりました。

このような状況の下、当第3四半期連結累計期間における当社グループの連結売上高は、テレビのタイム収入で減収となったものの、事業部門の大幅な増収により、2,761億4千6百万円（前年同期比2.5%増）となりました。

売上原価と販売費及び一般管理費を合わせた営業費用は、番組制作費やイベント実施費用などの増加により、2,559億5千2百万円（前年同期比4.0%増）となりました。

この結果、営業利益は201億9千4百万円（前年同期比12.9%減）となりました。経常利益は341億1百万円（同2.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は211億6千6百万円（同0.9%減）となりました。

◇メディア・コンテンツ事業セグメント

メディア・コンテンツ事業セグメントの当第3四半期連結累計期間の売上高は2,135億7百万円（前年同期比1.1%増）、営業利益は、115億8千8百万円（同19.3%減）となりました。

㈱TBSテレビのテレビ部門の当第3四半期連結累計期間の売上高については、3億6千9百万円減収の1,447億3千7百万円（前年同期比0.3%減）となりました。このうち、タイム収入は3年ぶりの開催となった「世界陸上2022オレゴン」のセールスが好調でしたが、前年の「東京オリンピック・パラリンピック」の反動をカバーするには至らず、604億7千3百万円（同3.7%減）となりました。一方スポット収入では、関東地区投下量が前年比3.7%減と、大変厳しい市況でしたが、5局シェアが20.9%と、前年同期比で0.8ポイント改善したことにより、625億1千8百万円（同0.1%増）となりました。配信広告収入は、国内の無料動画配信が引き続き好調で、39億8千2百万円（同19.3%増）となりました。

㈱TBSテレビの事業部門の当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、54億8千4百万円増収の217億9千9百万円（前年同期比33.6%増）となりました。マーチャндаイジングセンターは「クロサギ」や「君の花になる」など10月ドラマの商品化が好調でしたが、巣ごもり需要の反動をカバーするには至らず減収となりました。催事・興行では、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた前年の反動に加え、TBS開局70周年記念 舞台『ハリー・ポッターと呪いの子』のロングラン上演が7月より開始したことや、サッカー「パリ・サン＝ジェルマン ジャパンツアー2022」の成功が大きく貢献したほか、ドラマ「君の花になる」の連動イベントにより、前年に比べ大幅な増収となったほか、映画・アニメも「99.9-刑事専門弁護士-THE MOVIE」や映画「五分の花嫁」といったヒット作に恵まれ増収となりました。グローバルビジネスは「SASUKE」のフォーマット販売が引き続き好調で増収となりました。

㈱TBSラジオは、好調なイベント収入では増収となったものの、広告収入がタイム・スポットともに減収となり、1億5千1百万円減収の62億9千1百万円（前年同期比2.3%減）となりました。

㈱BS-TBSは、タイム収入、スポット収入の増収に加えて、配信を含む事業収入が引き続き好調で、8億2千9百万円増収の129億9百万円（前年同期比6.9%増）となりました。

㈱TBSグロウディアは、ショッピング部門売上、DVD収入の減少により、8億7千3百万円減収の200億9千6百万円（前年同期比4.2%減）となりました。

㈱日音は、洋楽収入が落ち込んだことにより3千4百万円減収の62億2千4百万円（前年同期比0.6%減）となりました。

TCエンタテインメント㈱は、DVD販売の減少により、10億8百万円減収の53億4千3百万円（前年同期比15.9%減）となりました。

費用面においては番組制作費の増加に加えて、事業部門での大型イベントの実施などにより、前年より費用が増加しました。この結果、同セグメントにおける営業利益は27億7千7百万円減益となる115億8千8百万円（前年同期比19.3%減）となりました。

◇ライフスタイル事業セグメント

ライフスタイル事業セグメントの当第3四半期連結累計期間の売上高は、502億7千9百万円（前年同期比8.4%増）、営業利益は32億9千万円（同9.9%増）となりました。

スタイリングライフグループでは、通信販売事業の㈱ライトアップショッピングクラブで、前年好調であった受注の落ち着きにより、減収減益となりました。

ビューティ&ウェルネス事業は、化粧品の開発・製造・販売を行っている「BCLカンパニー」では、依然厳しい状況が続いております。㈱CPコスメティクスでは、化粧品販売が増加したものの、販促費の増加等により、事業全体で減収減益となりました。

一方で、中核の雑貨小売販売事業の「プラザスタイルカンパニー」は、新型コロナウイルス感染症に伴う自粛要請解除による人流回復などで大幅な増収増益となり、スタイリングライフグループ全体で増収増益となりました。

◇不動産・その他事業セグメント

不動産・その他事業セグメントの当第3四半期連結累計期間の売上高は123億6千万円（前年同期比4.7%増）、営業利益53億7百万円（同9.1%減）となりました。

収入面は賃料収入の回復により増収となりましたが、修繕費、水道光熱費の増加などにより減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は1兆202億1千8百万円で、前連結会計年度末に比べて1,814億1千3百万円の減少となりました。土地の取得等により有形固定資産が103億8千1百万円増加した一方、現金及び預金が配当金の支払いや有形固定資産の取得等により206億1千9百万円減少、保有する株式の含み益の減少等により投資有価証券が1,903億9百万円減少したこと等によります。

(負債)

負債合計は2,562億4千万円で、前連結会計年度末に比べて623億8千8百万円の減少となりました。保有する株式の時価の下落に伴い繰延税金負債が577億1千6百万円減少したこと等によります。

(純資産)

純資産合計は7,639億7千7百万円で、前連結会計年度末に比べて1,190億2千4百万円の減少となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益の計上や配当金の支払い等により利益剰余金が差し引き140億3千3百万円増加した一方、その他有価証券評価差額金が1,301億7千1百万円減少したこと等によります。

この結果、自己資本比率は73.4%、1株当たりの純資産は4,445円59銭となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期連結業績予想につきましては、2022年11月10日の「2023年3月期 第2四半期決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	98,767	78,147
受取手形、売掛金及び契約資産	66,688	74,215
有価証券	10	—
商品及び製品	7,506	9,306
番組及び仕掛品	6,308	10,418
原材料及び貯蔵品	648	910
前払費用	9,483	12,317
その他	9,406	14,359
貸倒引当金	△127	△110
流動資産合計	198,692	199,564
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	211,847	215,478
減価償却累計額	△128,468	△132,219
建物及び構築物（純額）	83,379	83,258
機械装置及び運搬具	77,468	78,145
減価償却累計額	△68,969	△70,077
機械装置及び運搬具（純額）	8,498	8,067
工具、器具及び備品	18,151	18,437
減価償却累計額	△15,668	△15,867
工具、器具及び備品（純額）	2,482	2,570
土地	144,169	161,001
リース資産	1,979	1,918
減価償却累計額	△1,671	△1,686
リース資産（純額）	307	232
建設仮勘定	7,906	1,994
有形固定資産合計	246,744	257,125
無形固定資産		
ソフトウェア	6,465	6,574
のれん	9,611	8,264
その他	972	669
無形固定資産合計	17,050	15,508
投資その他の資産		
投資有価証券	726,947	536,637
長期貸付金	187	185
繰延税金資産	2,311	1,775
長期前払費用	216	125
その他	9,667	9,479
貸倒引当金	△186	△182
投資その他の資産合計	739,144	548,019
固定資産合計	1,002,939	820,654
資産合計	1,201,632	1,020,218

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39,956	41,846
1年内返済予定の長期借入金	—	21,500
未払金	14,678	9,172
未払法人税等	3,133	3,842
未払消費税等	2,593	1,528
未払費用	1,676	1,796
賞与引当金	4,018	1,433
役員賞与引当金	27	8
固定資産撤去費用引当金	136	26
その他	9,370	12,959
流動負債合計	75,592	94,114
固定負債		
長期借入金	26,000	3,500
退職給付に係る負債	14,689	14,436
リース債務	186	126
繰延税金負債	186,409	128,692
その他	15,752	15,371
固定負債合計	243,037	162,126
負債合計	318,629	256,240
純資産の部		
株主資本		
資本金	54,986	54,986
資本剰余金	42,576	42,547
利益剰余金	357,818	371,852
自己株式	△1,552	△5,480
株主資本合計	453,829	463,906
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	414,390	284,219
繰延ヘッジ損益	25	15
為替換算調整勘定	81	162
退職給付に係る調整累計額	127	93
その他の包括利益累計額合計	414,625	284,491
非支配株主持分	14,547	15,579
純資産合計	883,002	763,977
負債純資産合計	1,201,632	1,020,218

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	269,318	276,146
売上原価	178,287	185,767
売上総利益	91,031	90,378
販売費及び一般管理費	67,833	70,184
営業利益	23,198	20,194
営業外収益		
受取利息	8	8
受取配当金	10,249	13,983
持分法による投資利益	346	142
その他	429	437
営業外収益合計	11,033	14,571
営業外費用		
支払利息	69	59
固定資産除却損	67	146
控除対象外消費税等	67	89
投資事業組合運用損	315	32
その他	325	336
営業外費用合計	846	664
経常利益	33,385	34,101
特別利益		
投資有価証券売却益	1,149	550
雇用調整助成金	※1 102	—
特別利益合計	1,252	550
特別損失		
投資有価証券売却損	—	536
事業構造改善費用	1,176	104
投資有価証券評価損	103	22
減損損失	45	8
感染症拡大に伴う損失	※2 152	—
固定資産撤去費	120	—
段階取得に係る差損	14	—
特別損失合計	1,612	672
税金等調整前四半期純利益	33,025	33,979
法人税、住民税及び事業税	7,693	9,752
法人税等調整額	3,100	1,899
法人税等合計	10,794	11,651
四半期純利益	22,230	22,327
非支配株主に帰属する四半期純利益	863	1,161
親会社株主に帰属する四半期純利益	21,367	21,166

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	22,230	22,327
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	110,825	△130,163
繰延ヘッジ損益	△28	—
為替換算調整勘定	33	82
退職給付に係る調整額	△33	△41
持分法適用会社に対する持分相当額	△16	△18
その他の包括利益合計	110,780	△130,140
四半期包括利益	133,010	△107,813
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	132,147	△108,968
非支配株主に係る四半期包括利益	863	1,154

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※1 雇用調整助成金

前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、雇用調整助成金の特例措置の適用を受けたものであり、当該支給額を「雇用調整助成金」として特別利益に計上しております。

※2 感染症拡大に伴う損失

前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

新型コロナウイルス感染症に対する政府、自治体からの要請や声明等を踏まえ、イベントの中止、店舗営業の自粛により発生した固定費(人件費・賃借費・減価償却費)等を「感染症拡大に伴う損失」として、特別損失に計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	メディア・ コンテンツ事業	ライフ スタイル事業	不動産・ その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	211,121	46,387	11,809	269,318	—	269,318
セグメント間の内部売上 高又は振替高	273	5	3,881	4,161	△4,161	—
計	211,395	46,393	15,690	273,479	△4,161	269,318
セグメント利益	14,365	2,994	5,837	23,197	0	23,198

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	メディア・ コンテンツ事業	ライフ スタイル事業	不動産・ その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	213,507	50,279	12,360	276,146	—	276,146
セグメント間の内部売上 高又は振替高	446	5	3,923	4,374	△4,374	—
計	213,953	50,284	16,283	280,521	△4,374	276,146
セグメント利益	11,588	3,290	5,307	20,186	8	20,194

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

(株)TBSテレビ事業収入の内訳 (第3四半期)

(単位: 百万円)

区分	前第3四半期 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	比較		前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
	金額	金額	金額	伸率	金額
テレビ	145,106	144,737	△369	△0.3	192,616
タイム	62,782	60,473	△2,309	△3.7	81,831
スポット	62,462	62,518	55	0.1	84,559
配信広告	3,338	3,982	644	19.3	4,871
その他	16,523	17,763	1,239	7.5	21,354
事業	16,314	21,799	5,484	33.6	21,820
不動産	2,262	2,265	2	0.1	3,013
合計	163,683	168,801	5,117	3.1	217,450

(注) 前第3四半期および前事業年度においてコンテンツ区分で開示していた収入のうち、当第3四半期においては配信広告を別掲したうえで、配信広告以外をその他区分で集計しております。

なお、前第3四半期および前事業年度について、当該変更による組替を行ったうえで開示しております。